

|      |   |
|------|---|
| 会議名  | 令和2年度 第1回 生涯学習推進会議  |
| 開催日時 | 令和2年6月30日(火) 午前11時05分～午前11時55分  |
| 開催場所 | 稲沢市役所 政策審議室   |
| 主催   | 生涯学習課   |
| 議題   | ◎ 委嘱辞令交付<br>◎ あいさつ<br>協議事項<br>1 2019 稲沢市生涯学習推進計画の進行管理について<br>2 その他  |
| 資料   | 別添のとおり  |
| 出席者  | <b>【委員】</b><br>中西千鶴子、山内晴雄、川口清子、恒川なおみ、吉川光彦、定行加保里、栗林芳彦、福島俊治、加島和典、佐藤あや子、今井一博、河村禎之、<br>島畑総子<br>※欠席…渡辺香織<br><b>【事務局】</b><br>(生涯学習課) 課長 岩田勝宏、主幹 江頭弘幸<br>社会教育指導員 大津隆、主査 曾根洋一 |
| 備考   | 傍聴者なし   |

**【会議概要】**

◎ 辞令交付

※社会教育委員会にて交付済

◎ あいさつ

(教育長)

・お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。最初の大事な会議となります。積極的に御提言いただきますようお願いいたします。話題を変えますが、新聞のコラムに知的好奇心が旺盛な人ほど脳の萎縮が少ないという記事がありました。新しいことへの挑戦が脳の健康に大きな影響を与えるとのこと。これからの社会人は学び直しの必要性が強く求められます。是非生涯学習という大きな面から稲沢市の在り方について方向性を見出していきたい。

(委員長)

・教育長の話ではないが会議の中止が続き脳が萎縮してしまっているような気がする。今日から徐々に始動していきたい。世の中もガラッと変わっていくと思う。オンラインもよいが人と人との直接的なふれあいというものを今後どのようにしていくのか考える必要があると思う。話は変わるが成人式もイベント化してきている、積極的に若い方たちに働きかける事業もあってよいと思う。

※教育長、教育部長はその他公務のため退席

◎協議事項

1 2019 稲沢市生涯学習推進計画の進行管理について

※ 昨年度第2回開催の推進会議において再度検討することとなった進捗状況調査票（案）について修正案を事務局から説明。

（生涯学習課主幹）

- ・計画の進行管理、目標について再度確認の説明。
- ・前回調査票について委員の皆様からは、「手段と結果を報告する形となっており、課題は何か、取り組んでどう変わったかということの評価していかないとあまり意味がない」、「PDCAサイクルを繰り返すことで課題解決につながる」、「評価について担当課の自己評価となっているが、自己評価ではなく第三者、推進会議委員の評価とした方が良いのではないか」、「もっと具体的な目標を入れた方が良い」、「方向性を評価として考えてはどうか」、「講座のアンケートの結果を見てどう変化したのかを見たらどうか」等の意見を頂いた。
- ・委員の皆様から頂いた意見を基に修正案を作成しました。生涯学習課で行っている「親子ふれあい広場」の事業を例に説明します。指標の方向性を参考とするが、意識調査を毎年行うのは困難なため、各講座でのアンケート調査を基に傾向を分析し改善していく。受講者数を増やすのが目的ではなく、新規受講者を増やすことを重点とする。取組状況については、年末を目途に担当課に記入を依頼。これらを基に委員の皆様から評価を頂く。その意見、提案を各担当課へ還元する。そして事業の見直し、改善を図っていく。
- ・136全ての事業を評価するのは困難なため、特に力を入れるべき事業について、（1）気づきの機会の充実、（2）学習機会の充実の2つから主に事業を選択していただきたい。これについては書面でやり取りを行い、取りまとめたものを次回の検討会でお示ししたい。

※ 質疑応答

（A委員）

- ・同じような内容の事業が重複してあるかもしれないが、日時によって行ける場合もあるのでありがたい。
- ・その他特になし

2 その他

※ 令和2年度の生涯学習推進会議・社会教育委員等の年間スケジュール（案）」について説明

（事務局）

- ・上段の生涯学習推進会議は、例年2回の定例会議のほか、生涯学習の推進に向けて具体的にご審議いただく検討委員会を開催している。第1回の定例会議が本日で、その後第1回の検討委員会を8月下旬頃に開催予定。そこで委員の皆様から抽出いただいた事業について取りまとめたもの、また各講座で行っていただくアンケートの調査票（案）等をお示しさせていただく予定。
- ・その後、抽出した事業を行っている担当課へ取組状況の記載を依頼。記入に際しある程度実績の期間が必要なため、第2回の検討委員会を12月下旬に予定。ここで委員の皆様から評価のコメントをお願いしたい。
- ・最後に第2回の社会教育委員会を2月下旬に開催し、ここで検討内容のまとめをお願いする予定。
- ・社会教育委員会については、県社連、県社連西尾張支部ともに総会が中止による書面開催となっており、東海北陸大会についても中止が決定している。また、地区研修会については、令和2・3年度は一宮市で調整される。
- ・公民館関係は、東海北陸公民館大会の延期が決定している。

- ・「共通」欄の視察研修については、会議等での検討に際し参考にすべき近隣市町村の先進事例があれば、積極的に視察等を行っていきたい。

※ 質疑応答

(副委員長)

- ・視察研修等について、ふるさとガイドの会との連携についてはどのように考えているか。

(生涯学習課長)

- ・今までは合同研修という名目で実施していたが、今年度は名称を分けて行う予定。ただ、委員の皆様にはご紹介させていただき希望があればいっしょに参加していただくよう考えている。

(事務局)

- ・訂正をお願いします。公民館関係の東海北陸公民館大会は延期ではなく中止が決定しています。来年度に延期ということです。

(生涯学習課主幹)

- ・先程の事業の抽出について、事務局の都合で申し訳ありませんが数を各委員3つずつにしていきたい。報告していただく書式等については、後日送付させていただく。

<午前11時55分閉会>